

－労働と教育の場「雑草」・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会だより－

# あらぐさニュース

2016.1

Vol.60

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)

## 成人おめでとう!!



1月7日(木)あらぐさ1階のホールにて成人を祝う会が開かれました。今回の新成人は、上尾特別支援学校を卒業して、リサイクル班2年目の「高橋佑也」さんです。1部はご家族と特別支援学校の先生も出席され、仲間や職員からも心温まるお祝いの言葉が述べられました。

2部では、やぎさん一座の紙芝居とスライドショーや仲間の考えた佑也さんに関する〇×クイズをしました。今回の紙芝居はクイズ形式になっていていつもとは少し違いましたがとても盛り上がりました。待ちに待ったスライドショーでは、みんなと一緒に佑也さんの20年間の歴史について質問などを交えて楽しく振り返りました。

(高野内)

## 第 39 次国会請願署名にご協力お願いします

新年あけましておめでとうございます。いつも後援会員の皆様にはお世話になり、ありがとうございます。今年もよろしくお願い致します。

昨年は激動の年でした。最大な出来事は安全保障関連法の成立でしょうか。安倍政権は、集団的自衛権の行使容認（アメリカの戦争に日本が参加）という歴代の政府が踏み込めなかったことを閣議決定し、安保関連法を両院で強行採決してしまいました。内容もさることながらその強権の手続きに大きな反対が沸き上がりました。保守・革新・老若男女様々な人たちが声を上げたことは、今までありませんでした。

また、衆院で採決され参院で継続審議となっている社会福祉法案を、この国会で成立させようとしています。福祉分野に営利目的で参入した企業の要求で、国は「企業が活躍しやすい環境」作りをしようとしています。福祉を大きく改悪させる法律と言わざるをえません。さらに介護保険制度の改悪では、低所得者対策の縮小や収入認定で世帯分離を認めなくした結果、自己負担が大幅に増えました。例えば特養ホーム入居の妻の利用料請求が、月 53,700 円から月 92,700 円（昨年 9 月から）に増えました。妻の年金は 7 万円です。家族に負担を負わせ続ける制度でいいのでしょうか。

生活保護基準も引き下げました。「苦しい生活をしてきた中でこれ以上は切り詰められない」と裁判を起こした人たちがいます。決して生活保護受給者だけの問題ではありません。年金、障害基礎年金に大きな影響を与える基準であります。憲法 25 条を問う裁判でもあります。

このような中で、消費税を値上げしようとしています。貧富の差がさらに広がるのではないのでしょうか。社会はどこへ向かっているのかを思うと暗澹となってしまいますが、今までにない広範な運動に、新たな希望も感じます。その理念は「きょうされん」がスローガンにしていた「わたしたちぬきにわたしたちのことをきめないで」と共通していると思います。障害だけでなく、介護・児童・生保も守れという声に、自分も行動をしなければと勇気づけられます。

一方、雑草では第 1 クロバーハウスの建て替えがありました。老朽化、スプリンクラーの未設置など安全面から建て替えましたが、補助金の対象にならず、資金は法人負担でした。しかしこれも長年の後援会からの寄付があってできたことです。多くの方のご協力で 7 人定員のホームが完成し既に生活を送っています。ありがとうございました。

また、労働と教育の場「雑草」は世代交代を迎えています。立ち上げ時からの職員は定年や他事業へ異動し、現場は 5 年未満の若い職員達です。若い力で「仲間が主人公」を継承しながら過去にとらわれない新しい「雑草」を作っていってほしいと願っています。応援し支えていくのが古い職員の役割ですから。そんな中ですが、新事業の立ち上げも検討しています。内容は職員、家族後援会員の声を反映しながら進めていきます。

今後も皆様のご協力と、合わせて署名へのご協力もお願い致します。

# 2015年 仲間交流会

11月11日(水)、きょうされん北東ブロック仲間交流会がありました。

今年は、「年に一度の熱き戦い!!スポーツ大会」ということで、行田グリーンアリーナを借りて行われ、種目は「パン食い競争」、「綱引き」、「風船バレー」でした。

種目の決定に伴い、今回はチーム対抗での大会であったため、仲間にどの種目に出たいか事前アンケートを取りました。一番多かった「パン食い競争」は、「かがやき共同作業所」からパンを提供していただき、出場できた仲間達はいいいお土産ができ喜んでいました。「綱引き」は、ほとんどの仲間が参加して、一緒のチームであった「白岡太陽の家にじ」の仲間と一生懸命綱を引いて、終わりの合図があるまで、手を離さず諦めませんでした。

「風船バレー」は、直径60センチメートルある大きなボールを、相手のコートに落とせば、一点獲得で、先に5点取ったチームの勝利というルールでやりました。各団体5名ずつの参加で、雑草は女性組でした。風船がコートに入ってくるたびに、目でしっかり追いかけて、思いっきり相手のコートにパンと飛ばして迫力がありました。どの団体も、最後の種目ということもあり、「○○さんがんばれ!!負けるな!!」と応援もヒートアップして、盛り上がりました。

例年に比べ、「一致団結」した楽しい交流会になりました。

(関口)

## パン食い競争



無事にゲットできました



あっ!!ボールが飛んできた!!



ヨイショ!!ヨイショ!!  
あともう一息だあ。がんば

## 綱引き



## 風船バレー



ソーレ!! 雑草のみんなも応援してますよ!!



# 『 あらぐさクリスマス会 』



1 2月29日(土) あらぐさ1階ホールにてクリスマス会が開催されました。今回のゲストは『やぎさん一座』さん、そして『プロペラシャフト』さん！

1部のやぎさん夫妻による紙芝居では、クイズ形式の工夫が凝らされたもので、正解を当てようと仲間の声があちこちから飛び交い、気持ちは一点に集中していました。やぎさんのトークに皆が笑い、次のストーリーは何だろう？と仲間の心をぐっと掴んだ楽しいお話でした。

2部では、プロペラシャフトさんによるミニコンサートでした。皆が1つとなって楽しむことをテーマに、ハンドベル等の楽器を用いたクリスマスソングなどを歌いました。全員参加型の企画では個々で担当する音を決め、自分の番がくると音を鳴らすといったものでした。本番に強い仲間は、ほとんど練習いらず。すぐに1つの曲となり歓声が沸きました。

いよいよと、お待ちかねのサンタさんによるプレゼントタイムでは、会場がざわつきます。サンタさんやトナカイが1つ1つプレゼントを配るとうれしそうな表情。中身はもちろんあらぐさの美味しい『手作りケーキ・クッキー』でした。

例年よりも地域の方々の参加人数も多くにぎやかな会となりました。次回も楽しみですね。

(伊藤)

# 上尾ライオンズクラブ主催 クリスマスコンサート

12月18日（金） 上尾コミュニティーセンターにて、上尾ライオンズクラブ主催のクリスマスコンサートが行われました。

上尾市内5か所の事業所とゲストのあっぴーよさ連の方々によるステージ発表が行われました。

あらぐさはEXILEのEXダンス体操とライジングサンを披露しました。練習では、なかなか同じ動きができず表情も硬かったのですが、本番は笑顔も見られ、楽しく歌い踊ることができ大成功でした。

（安達・村越）



# 『第1クローバーハウス通信…特別版』

## ◆第1クローバーハウスとは・・・

上尾市領家の住宅街にある、あらぐさ福祉会が運営している知的障害者のグループホームです。2002年11月に開所し、2015年11月に建物が新しくなりました。現在7人の男性利用者が生活しています。365日開所です。

## 〈第1クローバーハウス新生活スタート〉

2015年6月に始まった新築工事も11月に無事終了しました。地域への内覧会も行い、11月24日に引っ越し、新たなスタートとなりました。



(玄関を開けると広く長く続く廊下)



(新しい部屋の居心地はどうか?)



(以前の倍ほど大きくなった外観)



(広くなった2階ベランダは日当たり抜群)

一人ひとりの居室スペースが広くなり、快適な生活空間となった第1クローバーハウスへぜひ見学に来てください。 (高橋)

# 障害者生活支援センターあらくさのページ

## 親亡き後～暮らしの場を考える その6

### 1 ある日の入所風景

前回のニュースで入所待機が1400名に達したとお知らせしましたが、先般他団体が県との話し合いの中で、公式に確認されました。

そんな困難な中で、上尾からは遠方の地域の施設ですが、幸運にも入所が決まった事例を紹介します。

Uさん（40代後半男性・通所施設）、家族は父親が80代で要介護2、母親は70代で介護は有りませんが、最近病気で入退院が多く、かなり体力的に衰えてきています。このページに何度も登場する40／70・80世代です。

Uさん家族も親御さんは「自分が元気なうちは親で」というご家庭でしたが、一昨年ころより、まず父親が介護になり、母親がその介護疲れとUさんの世話で病気になってしまっ、看きれなくなりました。センターとの関りで短期入所（SS）は利用していたのですが、母親の入院が頻繁になり、SSだけでは生活が回らなくなりました。

そのため入所申請（申請はしていましたが）をおこない、SSをしていた施設を中心に打診しましたが、もちろん断られました。そこでセンターと市役所で別の施設を「手分けして」打診し、まずSSをおこない（4カ所：全て遠方）月2回を2カ所ずつ回りました。

両親はもちろん親戚も高齢者ばかりで、送迎や契約もままならず（全部後から）困難を極める中、一つの施設がグループホーム（GH）を開所して少しまとまって空きができました。先方は既に次の入所者の内定をしていましたが、センターの入所相談を受けて、Uさんのほうが緊急性が高いという判断をしていただけて、奇跡的に先般入所が決まりました。

決まるまでに約1年かかりましたが、まだましなほうで、通常5年待ちは当たり前な中での出来事です。市・センターと先方施設の信頼関係の中で取り組めたことですが、これを持って、「困れば市が何とかしてくれる」と思ってもらっては困ります。

本事例はあくまで幸運事例です。Uさん家族も近隣施設を希望されていましたが、何回も書いているように、近隣はほとんどが100人待機で、お願いすることはできず、遠方の施設で、ようやくSSから始めたケースです。各センター間では、毎日のように「どこかに空きがあるGHや施設はないか」というやりとりがあります。このことを忘れずに、「来るべく日」に備えて下さい。

この国の悲しくも腹立たしい現実を、少しでも変えていくためにも、声を上げていきましょう。

## 2 入所施設とグループホームのメリット・デメリットについて

実際の中身の部分で説明してほしいとの質問が寄せられましたので、お答えします。

### 1. グループホーム

#### ①メリット

- ・親から独立して社会人として生活する
- ・生まれ住んだ～ともにこの街で～生活できる
- ・家との行き来が容易（週末は家族で外食なので、夜だけ泊まる・あるいは実家に泊まるが可能）
- ・今まで通り雑草なら雑草に変わりなく通うことができる。
- ・個室でプライバシーが守られる。
- ・少人数なので細かいところまで目が行き届く。
- ・財産、健康管理等の支援が受けられる。
- ・仲間意識ができる。
- ・レクリエーション等に取り組みやすい
- ・地域の活動に参加できる

#### ②デメリット

- ・職員1人のため、緊急時の対応が困難。（本体施設のバックアップは必須）
- ・夜勤シフトの関係で職員の出入りが多く落ち着かない時もある。
- ・地域との様々な関係構築（ゴミ置き場清掃、自治会活動、同行事参加）まで手が回らない。
- ・インフルエンザ等の対応がきびしい（1人体制なので）
- ・看護職員がいない
- ・調理員がいない

### 2. 入所施設

#### ①メリット

- ・職員が多くいる（見る目が多くある）
- ・事務、看護、調理、運転等の専門職が配置されている。
- ・24時間トータルで支援しやすい。
- ・親亡きあとも安心して看てもらえる。
- ・施設が広いので様々な取り組みが可能。

#### ②デメリット

- ・個室化の遅れ
- ・入浴が少ない（多くの施設は週2～3回）
- ・画一的な支援になりがち
- ・高齢化（運営や活動の面から）
- ・交通不便な場所が多い。

\*次回はこれらのことを、もっと掘り下げていきます。



# お知らせコーナー

## バレンタインセット受付中

### バレンタインセット

アマンドショコラ2袋 + クッキー1袋  
950円



### トリュフ(生チョコ)

5個入り 650円  
10個入り 1300円



アマンドショコラ 300円  
(パリパリ!カリカリ!)



TEL 048-726-5720



#### ～編集後記～

年末、年始の休日はほとんどの日を父親と銭湯に行って過ごした貴之です。休み中あらぐさのことが気になって早く仕事がしたい様でした。入所当初は長い休みになるとずっと“あらぐさ”と言っていたので誰もいない雑草に行き納得させて帰ってきた事もありました。

今年もまた元気に通って欲しいと願っています。

(柄本)

### 第26回上尾市障害者作品展示即売会 IN 丸広百貨店

日程 2月19日(金)～2月22日(月)の4日間!!

午前10時から午後7時30分まで(22日は午後4時まで)

雑草は、ケーキ・クッキーを販売します。ぜひ、お立ち寄りください!!